

事業名	生徒指導推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	心の支援課
		実施期間	S58 ~	E-mail	kokoro@pref.nagano.lg.jp
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト	8 教育再生プロジェクト				
施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校児童生徒の在籍比は高い状況にあり、欠席日数も学年が上がるにつれて増加傾向にある。また、不登校の本人に係る要因は「不安」や「無気力」が多く、「家庭」「学業の不振」「人間関係をめぐる問題」が主な複合的要因となっている。 ⇒不登校児童生徒の在籍比(平成28年度) 小学校(県)0.48%(国)0.48% 中学校(県)2.79%(国)3.01% 高校(県)1.17%(国)1.47% ○ 法や県条例の制定により「いじめを許さない、見逃さない」という気運が高まっている。いじめの認知件数は、社会的気運の高まりも相まって平成24年度以降はそれまでよりも高水準となっているが、国と比較すると低い状況。 ⇒いじめの認知件数(平成28年度) (県)17.8件/1,000人 (国)23.9件/1,000人 ○ 生徒指導上の諸問題の解消のためには、児童生徒一人ひとりの心理的な要因や家庭的な背景を含めた理解を図り、それぞれの状況に応じて関係機関と連携する必要がある。 	29年度決算額	254,819 千円
		職員数	9.00 人

目指す姿	<p>不登校、いじめ、暴力などの生徒指導上の諸問題に対して、未然防止、早期発見、早期対応に必要な相談支援体制の充実を図り、すべての児童生徒が安心して学校生活を過ごすことができるようにするため、相談に対応する専門家の資質向上を図るとともに、配置人数を増やすなど相談支援体制を充実させる。</p> <p>(主な実施内容: スクールカウンセラーの配置・派遣、スクールソーシャルワーカー(SSW)の活用など)</p>
------	--

区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況					
					No	成果指標	27年度	28年度	29年度	
事業額	前年度繰越									
	当初予算	227,848	254,384	263,454	303,469					
	補正予算	-2,346	-5,922							
	合計(A)	225,502	248,462	263,454	303,469					
Aの財源	一般財源	154,190	171,205	180,533	208,212					
	県債									
	国庫支出金	71,254	76,956	81,396	93,804					
	その他	58	301	1,525	1,453					
決算額(B)		211,308	239,906	254,819						
概算人件費	職員数(人)	9.00	9.00	9.00						
	概算人件費(C)	74,484	71,226	72,918	0					
概算事業費(B(A)+C)		285,792	311,132	327,737	303,469					
成果指標設定理由	いじめ、不登校、暴力行為などの背景にある家庭的な問題に対して、社会福祉や精神保健福祉の専門家であるSSWが介入して、総合的な支援をすることにより、児童生徒を取り巻く環境等の改善を目指すため、成果指標に設定。									
目標に対する成果の状況	平成29年度のSSWの配置人数の拡充により、学校と、地域関係機関との連携した件数は増加した。また、学校との連携を活性化させ、早期発見の取組やアセスメントの充実を図ることを通して、一定の改善が図られるケースも増加した。一方、個々の事案に費やす時間の増加、関係機関の対応が追いつかない現状がある。また、継続支援が必要な児童生徒の件数は増加している。									

成果指標設定理由	いじめ、不登校、暴力行為などの背景にある家庭的な問題に対して、社会福祉や精神保健福祉の専門家であるSSWが介入して、総合的な支援をすることにより、児童生徒を取り巻く環境等の改善を目指すため、成果指標に設定。									
----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

目標に対する成果の状況	平成29年度のSSWの配置人数の拡充により、学校と、地域関係機関との連携した件数は増加した。また、学校との連携を活性化させ、早期発見の取組やアセスメントの充実を図ることを通して、一定の改善が図られるケースも増加した。一方、個々の事案に費やす時間の増加、関係機関の対応が追いつかない現状がある。また、継続支援が必要な児童生徒の件数は増加している。									
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施				
	課題	今後の方向性			
	<p>新たな支援を必要とする児童生徒の早期発見の取組や、予防的な取組を充実させるとともに、継続支援の件数の増加に対応できるように、SSWの拡充が必要。</p>	<p>SSWを拡充し、配置方法を工夫することにより、要支援児童生徒の早期発見、早期支援が可能となるような支援体制を構築する。</p>			

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度(当初)		
					(当初)	(決算)			
1	8-2-4	生徒指導推進事業費	スクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー活用事業、子どもと親の相談員配置事業、いじめ・不登校地域支援事業 ほか	9.00	263,454	254,819	303,469		
					合計	9.00	263,454	254,819	303,469

事業改善シート附表

事業番号 15 07 01	事業名	生徒指導推進事業費			部局	教育委員会事務局		課・室	心の支援課			<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 ■点検						
		細事業No	細事業名	項目		実施方法	29年度 実施内容（予定）		29年度 実施内容（実績）	29年度 実施状況	27年度	28年度	29年度			総合5か年計画プロジェクト		県民協働事業改善
当初(千円)	当初(千円)				要求(千円)			当初(千円)			補正(千円)	決算(千円)	番号	施策の総合的展開	予算(千円)	実施年度	主な点検区分結果	
1	生徒指導推進事業費	子どもと親の相談員配置事業	直接	・子どもと親の相談員を、不登校児童数の多い小学校等30校へ配置、家庭訪問による相談・指導、関係機関との連携による支援を行った。	・子どもと親の相談員を不登校児童数の多い小学校等30校へ配置、家庭訪問による相談・指導、関係機関との連携による支援を行った。	計画通り ○	27,740	27,767	27,767	27,767		27,512						150601
1	生徒指導推進事業費	いじめ・不登校等生徒指導総合対策事業	直接	・生徒指導総合対策会議 2回 ・いじめ問題対策連絡協議会 2回 ・いじめ等学校問題支援チーム ・子どもの自殺防止対策 ・いじめ防止子どもサミットNAGANOの開催 ・高校生ICTカンファレンス長野大会の開催	・生徒指導総合対策会議 2回 ・いじめ問題対策連絡協議会 2回 ・いじめ等学校問題支援チーム ・子どもの自殺防止対策の実施 ・いじめ防止子どもサミットNAGANOの開催 ・高校生ICTカンファレンス長野大会の開催	計画通り ○	3,309	3,549	3,704	3,704		1,984						150601
1	生徒指導推進事業費	生徒健全育成事業	直接	・生徒指導補助員（1名）を心の支援課に配置、関係データの収集、統計資料の作成を行った。	・生徒指導補助員（1名）を配置、関係データの収集、統計資料等を作成し、研修会等で活用した。	計画通り ○	3,658	3,560	3,574	3,574		3,469						150601
1	生徒指導推進事業費	家庭との連携促進事業	直接	・特別家庭訪問 ・校外補導	問題行動の発生に応じ、家庭訪問等を実施した。	計画通り ○	5,104	4,826	4,832	4,832		1,678						150601
1	生徒指導推進事業費	スクールカウンセラー事業	直接	・小・中・高・特別支援学校へのスクールカウンセラーの配置及び派遣 ・緊急発生時、震災対応のスクールカウンセラー派遣	・小・中・高・特別支援学校へスクールカウンセラーを配置・派遣し、児童生徒、保護者等への相談・支援等を行った。（相談件数27,492件）	計画通り ○	149,985	150,125	153,002	148,755		146,593	8-2-4	7-1,5	148,755			150601
1	生徒指導推進事業費	スクールソーシャルワーカー活用事業	直接	・スクールソーシャルワーカーの配置（24名） ・震災対応のスクールソーシャルワーカー派遣	・スクールソーシャルワーカー（22名）を教育事務所に配置、児童生徒を取り巻く環境等の改善に向けて総合的な支援を行った（支援人数1,279人）	計画通り ○	20,396	46,642	62,553	62,553		62,055	8-2-4	7-1,5	62,553			150601
1	生徒指導推進事業費	いじめ・不登校地域支援事業	直接	・いじめ・不登校相談員の配置（4名）	・いじめ・不登校相談員を教育事務所に配置（4名）、各学校への巡回指導による必要な支援の把握等、効果的・総合的な支援体制づくりを行った。	計画通り ○	11,683	11,941	11,906	12,217		11,528						150601
1	生徒指導推進事業費	高等学校社会的自立支援事業		—	—		5,921	5,922	0	0		0						150601
1	生徒指導推進事業費	学校事故被害者等支援事業		—	—	未実施 ×	52	52	52	52		0						150601
合 計								227,848	254,384	267,390	263,454	0	254,819			211,308		